

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL <http://www.ke-s.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 初山 政彦

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役営業本部長 兼最高財務責任者 (氏名)川瀬 康平 TEL (06)6222-7474

四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	887	△3.0	△5	—	△12	—	△17	—
22年3月期第1四半期	915	△17.8	△46	—	△37	—	△7	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△3	66	—	—
22年3月期第1四半期	△1	47	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第1四半期	4,791		3,719		77.6		768	68
22年3月期	4,839		3,799		78.5		784	98

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,719百万円 22年3月期 3,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	10	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	10	00

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,783	2.7	19	—	21	—	17	—	3	51
通期	3,600	2.4	38	—	44	—	36	—	7	44

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,160,000株	22年3月期	5,160,000株
23年3月期1Q	321,281株	22年3月期	320,310株
23年3月期1Q	4,839,520株	22年3月期1Q	4,839,690株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書（平成22年8月9日付、結論の種類：無限定の結論）を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の業績等に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
	(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
	(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3.	四半期財務諸表	5
	(1) 四半期貸借対照表	5
	(2) 四半期損益計算書	7
	【第1四半期累計期間】	7
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足情報	11
	(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間のわが国の経済は、着実に景気回復の兆しを見せておりますものの、長引くデフレの影響により、失業率は高水準で推移しており、またギリシャ等欧州に端を発しました金融情勢不安も重なり、依然として厳しい状況が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましても、オフィスのデジタル化の加速により、ビジネスフォーム印刷の需要が減少する中で、価格競争も引続き厳しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、営業におきましては情報処理の拡大を目指し、通販業界、既存取引先の需要掘り起こし及び、中央官庁をはじめ市区町村、外郭団体などの開拓を中心に活動いたしました。

生産におきましては、生産効率の向上と内製化の促進、高速フルカラープリンターによる販促ツールの作成等を中心に活動いたしました。

業績につきましては、価格競争の激化や総需要の減退等厳しい経営環境の下、当第1四半期累計期間の売上高は887百万円（前年同期比3.0%減）、経常損失12百万円（前第1四半期は、37百万円の経常損失）、四半期純損失は17百万円（前第1四半期は7百万円の純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気低迷による総需要の減少、価格競争の激化の影響により、売上高569百万円、セグメント利益は38百万円の損失となりました。

② 情報処理事業

金融関連の需要減の影響はありましたものの、幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました結果、売上高317百万円、セグメント利益は32百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,388百万円と前事業年度末と比べ大きな増減はありませんでした。固定資産は前事業年度末より39百万円減少し、2,403百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」が38百万円、「有形固定資産」が27百万円それぞれ減少した一方で、「無形固定資産」が25百万円増加したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ19百万円増加し、807百万円となりました。これは主に「短期借入金」が30百万円、「賞与引当金」が16百万円それぞれ減少した一方で、流動負債「その他」に含まれる未払金勘定が72百万円増加したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ11百万円増加し、264百万円となりました。これは主に固定負債「その他」に含まれるリース債務勘定が12百万円増加したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ79百万円減少し、3,719百万円となりました。これは主に利益剰余金が66百万円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により37百万円の収入となりましたが、投資活動により3百万円、財務活動により80百万円の支出となった結果、前事業年度末より48百万円減少し1,447百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費52百万円、投資有価証券評価損22百万円、売上債権の増加額22百万円が大きな収支要因となり、37百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出9百万円、有形固定資産の売却による収入8百万円、保険積立金の積立による支出3百万円が主たる収支要因となり、3百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額43百万円、短期借入金の減少額26百万円を主たる収支要因として、80百万円の支出となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に開示した業績予想につきまして現時点における修正はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ200千円増加し、税引前四半期純損失は、4,359千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,346	1,666,039
受取手形及び売掛金	577,498	555,479
有価証券	—	2,209
商品及び製品	35,431	43,962
仕掛品	23,599	15,973
原材料及び貯蔵品	26,283	26,647
その他	108,278	85,941
貸倒引当金	△122	△117
流動資産合計	2,388,315	2,396,136
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	538,305	551,482
土地	539,125	539,125
その他(純額)	652,956	667,582
有形固定資産合計	1,730,387	1,758,190
無形固定資産	111,670	85,819
投資その他の資産	560,969	599,008
固定資産合計	2,403,027	2,443,018
資産合計	4,791,343	4,839,155
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,334	160,355
短期借入金	398,000	428,000
未払法人税等	2,120	10,722
賞与引当金	24,508	41,187
その他	211,473	147,238
流動負債合計	807,436	787,503
固定負債		
退職給付引当金	36,050	36,455
役員退職慰労引当金	18,148	17,282
その他	210,300	198,864
固定負債合計	264,499	252,603
負債合計	1,071,935	1,040,107

カワセコンピュータサプライ(株)(7851)平成23年3月期第1四半期決算短信(非連結)

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,412,138	1,478,241
自己株式	△80,126	△79,948
株主資本合計	3,731,317	3,797,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,909	1,449
評価・換算差額等合計	△11,909	1,449
純資産合計	3,719,407	3,799,047
負債純資産合計	4,791,343	4,839,155

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	915,091	887,643
売上原価	728,948	675,723
売上総利益	186,143	211,920
販売費及び一般管理費	232,720	217,431
営業損失(△)	△46,576	△5,511
営業外収益		
受取利息	349	1,384
受取配当金	581	762
助成金収入	—	8,287
保険解約返戻金	5,046	—
その他	4,844	2,886
営業外収益合計	10,821	13,320
営業外費用		
支払利息	1,212	3,430
投資有価証券評価損	—	15,252
その他	99	2,064
営業外費用合計	1,312	20,747
経常損失(△)	△37,067	△12,938
特別利益		
固定資産売却益	—	5,622
貸倒引当金戻入額	933	—
保険解約返戻金	29,936	—
特別利益合計	30,869	5,622
特別損失		
固定資産除却損	1,079	—
投資有価証券売却損	1,658	—
投資有価証券評価損	—	6,970
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,159
本社移転費用	6,390	—
その他	—	405
特別損失合計	9,128	11,535
税引前四半期純損失(△)	△15,326	△18,851
法人税、住民税及び事業税	2,073	2,152
法人税等調整額	△10,283	△3,298
法人税等合計	△8,210	△1,145
四半期純損失(△)	△7,115	△17,705

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△15,326	△18,851
減価償却費	55,661	52,368
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△933	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,511	△16,679
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△599	△405
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△356,671	865
受取利息及び受取配当金	△930	△2,146
支払利息	1,212	3,430
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△5,622
有形固定資産除却損	1,079	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1,658	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	23
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22,222
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,159
保険解約損益(△は益)	△29,936	74
売上債権の増減額(△は増加)	△105,727	△22,018
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,408	1,268
仕入債務の増減額(△は減少)	18,514	10,979
その他	423,747	16,229
小計	△29,170	45,903
利息及び配当金の受取額	819	3,325
利息の支払額	△1,121	△3,109
法人税等の支払額	△3,692	△8,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,164	37,507
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,540	△2,113
有形固定資産の売却による収入	—	8,142
無形固定資産の取得による支出	△20,955	△9,122
投資有価証券の取得による支出	△198	△180
有価証券の売却による収入	7,785	—
投資有価証券の償還による収入	—	1,963
保険積立金の積立による支出	△3,771	△3,231
保険積立金の払戻による収入	337,298	1,760
その他	—	△575
投資活動によるキャッシュ・フロー	285,618	△3,355

カワセコンピュータサプライ(株)(7851)平成23年3月期第1四半期決算短信(非連結)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△26,000
長期借入金の返済による支出	△4,800	△4,000
自己株式の取得による支出	—	△177
リース債務の返済による支出	—	△6,795
配当金の支払額	△43,892	△43,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,692	△80,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	△1,897
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153,672	△48,693
現金及び現金同等物の期首残高	1,629,686	1,496,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,783,359	1,447,346

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ビジネスフォーム事業	404,747	—
情報処理事業	317,704	—
合計	722,452	—

- (注) 1 金額は、製造原価(販売価格)によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ビジネスフォーム事業	456,362	—	91,924	—
情報処理事業	317,704	—	—	—
合計	774,067	—	91,924	—

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ビジネスフォーム事業	569,938	—
情報処理事業	317,704	—
合計	887,643	—

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	122,450	13.4	112,537	12.7

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。